

災害コミュニティソーシャルワーク実践研究セミナー

～「地域とともに」災害コミュニティソーシャルワークの展開を～

開催要領

1 趣 旨

災害発生後、避難所にて多職種による総合相談支援を行う「ふくしチーム (DWAT)」、被災者宅を訪問し続ける支援と多様な支援者との協働を展開する「災害ボランティアセンター」、復興期にかけて継続的な見守り支援やコミュニティづくりを支える「ささえあいセンター」等の災害福祉支援には、生活の基盤である“地域”を主体にした「災害コミュニティソーシャルワーク」の展開の重要性が見えてきました。

本セミナーは、過去の実践から災害コミュニティソーシャルワークの機能を学ぶとともに、その取組を災害時に特化したものにとどめず、日頃の地域共生社会の実現に向けた包括的・重層的支援体制の構築につなげていくことを目指します。

2 日 時 令和5年3月14日(火) 10:00～12:00

3 実施方法 オンライン

4 主 催 社会福祉法人長野県社会福祉協議会

5 内 容

■基調説明「災害コミュニティソーシャルワーク研究会の取組」

長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ 主査 山崎博之

■シンポジウム「災害コミュニティソーシャルワークの実践から課題と可能性を探る」

[シンポジスト]

○菊池 亮氏 釜石市社会福祉協議会 (岩手県) 地域福祉課 課長

○椿原 恵氏 岡山県社会福祉協議会 岡山県くらし復興サポートセンター 副所長

○小野貴規氏 長野市社会福祉協議会 地域福祉課 まいさぼ長野市 係長

[コメンテーター]

○井岡 仁志氏 ローカリズム・ラボ 代表 (元広島県地域支え合いセンター 専門相談員)

[コーディネーター]

○石井 布紀子氏 NPO 法人さくらネット 代表理事 (長野県社会福祉協議会 防災福祉アドバイザー)

■ディスカッション「圏域を意識した災害コミュニティソーシャルワークの展開に向けて」

※災害コミュニティソーシャルワーク研究会メンバーによるディスカッション

0層、1層、2層、3層のそれぞれの機能を再確認して構造化を図る

6 参加対象 災害コミュニティソーシャルワーク・災害ケースマネジメントに関心のある方、災害福祉支援に関わる方、地域共生社会推進に関わる方等

7 参加申込方法 下記URLからお申し込みください。

<https://forms.gle/VPvKwY6PzwEgMj357>

令和5年3月6日(月)までにお申し込みください。

※参加の方には、申し込みアドレス宛に当日視聴する Zoom の URL と資料を開催前日までに送ります。



8 お問合せ 長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ (山崎)

TEL : 026-228-4244 FAX : 026-228-0130 E-mail:kikaku@nsyakyu.or.jp

9 その他

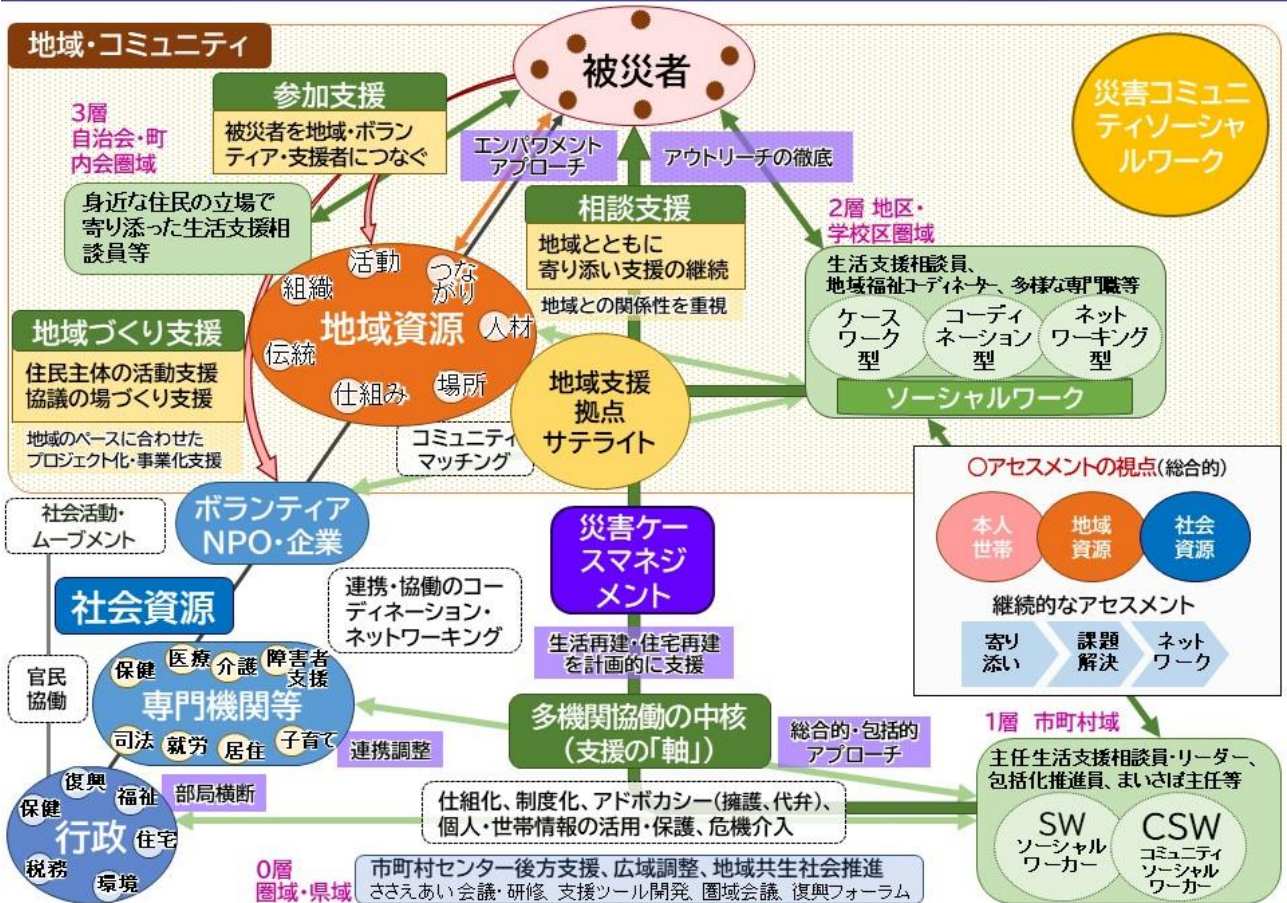
＜災害コミュニティソーシャルワーク実践研究セミナー賛同事業へのご参加のお願い＞

詳細は長野県社会福祉協議会HP <http://www.nsyakyo.or.jp/news/2023/01/post-320.php>

<p>第5回災害時の連携を考える長野フォーラム 【日 時】2023年3月12日(日) 13:00~16:30 【開催方法】オンライン 【主 催】長野県災害時支援ネットワーク</p>
<p>災害ボランティアセンター応援企業パートナーズ「サスながの」キック・オフフォーラム 【日 時】2023年3月13日(月) 10:00~12:15 【開催方法】オンライン 【主 催】損害保険ジャパン株式会社、長野県社会福祉協議会</p>
<p>医療的ケア児者家庭とEVカーボランティアのつながりづくり事業報告会 【日 時】2023年3月13日(月) 13:30~16:00 【開催方法】オンライン 【主 催】長野県社会福祉協議会</p>

【参 考】

災害コミュニティソーシャルワークの展開



＜被災者支援と地域支援を重層的に展開する体制イメージ＞

- 〔3層の相談員〕…被災者と元々つながりがある住民や民生委員経験者などが3層の相談員となり、住民に近い立場で見守り、生活課題をキャッチしたりサロンなどの行事参加に寄り添います。
- 〔2層の相談員〕…“地域づくり支援”の担当として担当地区に配置。3層で把握した生活課題を受止め、継続的に関わりながら、コミュニティづくりのための多様な活動に関わっていきます。
- 〔1層の相談員〕…生活課題が悪化した場合は、1層の市町村域の支援者が支援の軸となり、多機関協働の中核として専門機関である保健・医療・福祉との調整を行うとともに、居住など多様な支援調整を行政の部局を超えて調整します。この場合も、2層の相談員や地域住民、ときには本人も交えて相談支援を展開することが大切です。
- 〔0層＝県社協による県域・全国域・テーマ別の支援調整〕
 …被災地の生業支援、農福連携などの多分野協働、また被災地に集結した様々な専門分野を持つ外部支援団体との連携や調整を県社協が支援しました。